

H001

- T: はじめまして。
I: はじめまして。
T: えと、【T】と申します。
よろしく申し上げます。
I: よろしく申し上げます。
T: えと、お名前は？
I: えーと、【I (フルネーム)】です。
T: 【I (フルネーム)】…
I: はい、【I (姓)】です。
T: 【I (フルネーム)】さんですね。
えーと、どちらから、いらっしゃいましたか？
I: えー…
T: あの、今、あの、こちらの高校で、日本の高校にいらっしゃるんですが。
I: あの、国は、フィリピンから来ました。
T: あ、そうですか。
I: はい。
T: えーと、いつごろ？
I: 6, 7年前、あ、あー、7, 8年前、くらい前から。
T: あー、そうですか。
小学校…
I: 5年の終わりごろですかね。
T: あ、そうですか。
えーと、えー、フィリピンでは、どちらに住んでいらしたんですか？
I: えーと、フィリピンでは、あの、どこやったっけ、ルゾン、ルゾンね、ルゾンの、【地名1】というところから〈うん〉、まー、来ました。
T: あ、そうですか。
I: はい。
T: そこは、大きい街ですか？
I: いや、あの一、わりと、い、てか、田舎のほうで〈ええ〉、あの、いや、普通に田舎ですわ、はい。
T: えーと、その、普通に田舎っていうの、ちょっと、あの一、【I】さんのイメージで〈そうですね〉、お話ししていただけますか？
I: 特に、なんか、街とか、そういうのがなくて、村が多かった。
村というか、都会というイメージが全くない。
T: ふーん。
***、都会っていうイメージは、どんなんですかね？
I: んー、建物が多く建ってるとか〈ええ〉じゃなくて、もう、そこら、そのへん、きん、近くに家があったりという感じで、あとは、もう、周り、畑が多かったですね。
T: ふーん。
畑は、日本の畑と、ちょっと、やっぱ、雰囲気、違うんですかね？
わたし、ちょっと、がい、外国の、こ、田舎っていうのが、あんまり…
I: なんか、多かったのが〈ええ〉、やっぱ、なん、な、トウモロコシ〈ええ〉が、やっぱ、多いですね。
T: あー、そうですか。
じゃ、そういう、あの、フィリピンの、のどかな、えー、田舎の街から、えーと、【地名2】の、ここ【地名2】ですが、【地名2】のどちらに、いらっしゃったんですか？
I: 【地名2】の…
T: 【地名2】。
住んでらっしゃるところ。
初めて日本に来たときは、どちらへ？
I: あー、【地名3】です。
T: あ、【地名3】。

H001

I : 【地名3】。

T : あー, そうですか。

えーと, *** , 【地名3】 に来たんですか？。

I : いや, 親が〈うん〉, 一応, 自分らがフィリピンいたときに, こっちで住んでたんで〈うん〉, 来ただけです。

*, そのまま…

T : あ, こっちに住んでたっていうのは？。

I : もう, なんか…

T : ご両親が？。

I : はい, こっちで働いてた。

T : じゃ, 【I】さんだけ, あの一, フィリピンにいらっしやった？。

I : いや, もう, こっちに, います。

前, 自分らが…

T : いえ, あ, 来る前。

I : フィリピンいたときは〈うん〉, 親がこっちで働いてて〈ふーん〉, で, こっちに来て, 現在に至ったって, わけですよ。

T : あ, そうですか。

じゃ, あ, 来たときは, しばらく親と離れて暮らしてらした？。

I : はい。

T : あ, そうですか。

I : たまに, 親はフィリピンに来て〈ええ〉, まー, 一応, 生活費とか, そういうのを, 持ってくる〈ええ〉とかで {笑}, で, また, 日本に帰って, あとは, 仕事みたいな〈ええ〉感じで。

T : あ, そうですか。

じゃ, あ, 日本に来たときは, えーと, 言葉はどうでしたか？。

I : いや, 全然無理でした。

T : あー, そうですか。

それを, どうや, いきなしな, 日本の小学校に入ったんですか？。

I : *, ちょっとして, ちょっとして, という, だいたい1か月も, 1か月か2か月ぐらい, あいてから, にし, 小学校に入りました。

T : あー, そうですか。

その1か月か2か月のあいだは, なんか, 言葉の, なんか, やったんですか？。

I : いや, もう, 普通に, 親が, *, しゃべってる, *で, ちょっと, まー, わからなかったけど, 学校, い, 学校, 行ってから, ちょっと, わかってきて〈ええ〉, それで, もう, だんだん慣れてきました。

T : 学校行く前, 心配, どんな心配がありましたか？。

I : あー…

T : 小学校のころの思い出として？。

I : あー, これは, しゃべれねーな, とか〈ええ〉, そういうのが, ちょ, 一番心配でした。

T : ええ。

行ってみたら〈ん〉, 小学校に入ってみたら, どうでしたか？。

I : んー, 意外と普通〈あー〉。

意外と, みんな話しかけてくるけど〈ええ〉, たまに, なんか, 気に入らない, ***, いれば〈ええ〉, まー, 普通に, しゃべるやつも, おるみたいな〈ええ〉, なんつーか, 普通に。

T : そうですか。

え, 食べ物とかは, 困りませんか？。

I : いや, 別に, あ, 食べ物は別に, 食べれれ, 食べれば, あ, それでいいんで。

T : はい。

じゃ, ちょっと, これから, 詳しくね, いろいろ教えていただくと思うんですけど〈はい〉, あ, ま, 小学校のときね, 来てから, 小学校のあいだですね, ま, 2, 3年になるわけですね, 2, 3年間で, すかね。

I : 小学校…

H001

T: 小学校のあいだは、日本で、小学校。

I: 日本は、あの、1、1年…

T: あ、1年だけ。

I: もう、5年の終わりごろから。

T: あ、そうで、あ、そうですね、ごめんなさい。

5年の終わりに、いらしたのね〈はい〉。

小学校のころ、え、一番、なんか、こう、楽しかった思い出っていうのは、ありますか？。

I: え、修学旅行ですかね。

T: あー、修学旅行。

どちらへいっちゃったんですか？。

I: あのー、広島で〈ええ〉、ちょっと、原爆のこととかを調べて、いろいろ、そういうのもあったし〈うん〉、んー、楽しかったのは、やっぱ、友だちと、やっぱ、泊まること自体が楽しかったですね。

T: うーん。

あの、どういうところに泊まったんですか？。

I: うーんと、まー、な、【地名4】という場所に、***に、行って、せん、せんさわってたや〈うん〉、戦争のこととかの話も聞いたあとに、ちょっと、いろいろ、そ、その場所に確か、ホテル、ホテル〈うん〉、ホテルがあって、そこで、みんな泊まってました。

T: あの、広島にね、しゅうがっこ、あの、修学旅行に行ったということは、その修学旅行の目的っていうのは、どういうことだったんですか〈**〉？。

広島を選んだという？。

I: やっぱ、戦争の、あの、戦争のあとの、戦争が終わったあとの、その場所の状態などを、せ、それと戦争のひどさを、まー、教えてるような、そういう目的なんじゃないでしょうか〈うーん〉。

T: えーと、日本の子どもたちの反応はどうでしたか？。

【I】さんから…

I: たぶん、みんなは、普通に、修学旅行を楽しんでたんじゃないでしょうかね〈ええ〉。

修学旅行自体を。

T: 【I】さん自身は、どう思われましたか？。

I: いやー、そんなときも、正味言うと、あんま、そういうの考えてなかったんで、ちょっと、わからなかったんですけど、今、やっど、今やったら、ちょっと、やっぱ、ひどいのは、わかりました〈うん〉。

T: あの、小学校でね、そういう、あの、広島に修学旅行に行くってことについては、どう思いますか？。

I: いや、ちょっと、ひろし、小学校というよりは、やっぱ、中学校とかが、一番わかるんですけど、え、小学校にも、1回、行くことにも、なんか、そういうイメージを強く残すことにも、意味があるから、いいと思います。

T: ん、行く前に、学校で、なんらかの勉強していったんですか？。

I: 日本語、え、えと、*…

T: その、広島について。

I: あー、ちょっと、そこは覚えてないですね。

T: あー、そうですか。

あの、ね、小さい小学生なんかに、広島に、りよこ、修学旅行に連れていくのは、やはり、まだ、ちょっと、早すぎて、無駄じゃないかっていう意見もあるんですね。

それ、無駄じゃないでしょうかね？。

せっかく行っても。

I: まー、でも…

T: もっと楽しいところ。

I: それは、場合によりますね〈うん〉。

まー、一部の小学生、わかるけど、一部のほうにも、わからないのがありますから〈うん〉。

たぶん、でも、わからないほうが多いと思いますから〈うん〉、どっちかという、早いっちゃ、早いですよ〈うん〉。

T: じゃ、やっぱ、ちょっと、反論は、あるにしても少し。

I: 反論は〈うん〉、あります〈うん〉。

H001

T: うん, そうですか。

じゃ, やはりね, えーと, えー, あまり小学校で広島に行くっていうのは, あまり聞いてないんですけどね, 一般的には, でも, あの, もし, えー, 広島に小学校の段階で, えー, こう, 修学旅行に連れてく学校が増えたら, 平和についての考えかたっていうのは, どんなふうになるでしょうかね?。

子どもたちが平和について考える考えかたっていうのは, どんなふうになっていくと思いますか?。

I: まー, あんまり, そういうのには, さいし, 最初に, ちょっと触れて, で, ちょっと話してから, また, もう1回, それについて深く考えさせると, たぶん, ***, 小学校のときに, 1度, 行ったとして, で, 中学校に, それについて勉強したら, たぶん, もう, 戦争について, ちょっと考えるんでしょうから(うん)。

ま, 自分では, そうでしたから(うん)。

T: じゃ, 一般論として, えー, 【I】さんが, もし小学校の先生になった場合に, 将来, えー, そういうことに, やっぱり前向きに?。

I: ま, でも(うん), 小学校んときは, やっぱ, もうちょっと楽しませていたほうが(うん), いいという考え方になるかもしれません(うん), 先生になってたら。

T: じゃ, この, *, *, あの, 広島への平和修学旅行っていうのは, いつごろがいいと思いますか?。もし, 教育委員会とか, もっと大きい立場から考えたら, としたら?。

I: んーと, 中学校か高校ですね。

T: うん, なるほどね, はい。

I: *。

T: ありがとうございます。

平和について, ***, ね, もっと真剣に考えていかなくちゃいけないと思うんですけどね。

あの一, それから, えーと, 中学校にお入りになって, えー, それから, 今, 高校生になられたわけですけど, えーと, 高校生活って, あの, どんな生活, なさってるのか, 部活とか勉強とか, あたし, 高校のこと全然わからないんですけど, この, 例えば, 1週間, どんな, あの, スケジュールで暮らしてらっしゃるか, 教えていただけますか?。

I: はい, まー, 一般的に, もう, 8時40分から授業始まって, そっから, たれーず [とりあえず], まー, 昼休みも含めて, だいたい, よ, 3時, 3時20分までが, ***, 勉強, 勉強をいろいろ。

で, あと, そっから, 20分弱で, **, ショートホームルームというのがあって, あの, あした何するかなど, そういう説明とかを言って, そ, それ終わったあとに, 部活, かある, 部活が6時半までで, 家に帰るっていうところですかね。

T: えと, 学校から家まで, どれぐらいかかるんですか?。

I: だいたい15分には, 着くくらいで。

T: じゃ, 7時前に, 今, 家に?。

I: いや, あの, だいたい, は, 8時か, 8時15分に出ています。

T: あ, 朝は?。

I: 朝は。

T: ん, で, 帰るのは?。

I: 帰るのが, 遅くて7時半, なる。

T: あー, じゃ, 結構大変ですね。

それが, 月曜から金曜まで?。

I: うん。

T: じゃ, 土曜日は?。

I: 土曜日は, 10時からクラブで(ええ), 確か3, 4時半まで(ええ), 5時か(うん), 5時までが, もう, ずっとクラブです(うん)。

T: あの, 高校の授業の中でね, どの授業が一番, えー, 面白いっていうか, 役に立つっていうか, そういうのがあったら教えてください。

I: え, いろいろあるんですけど, 今, 一番役に立つと思うとしたら, 英語ですね(ふーん)。

T: どうしてですか?。

I: えーと, 今, 自分が一番できるやつで, まー, 将来, 国際的に, なんか, 役立つんじゃないかとか。

T: ふーん。

H001

でもね、あの、コンピューターでも、なんでもみんな、すべて英語の表記ですよ（はい）。

んと、英語は、道具としては便利だけれど、ある一面、あの、なんか、非常に、こう、英語でね、英語の力っていうか、グローバリズムと言われてますよね。

で、世界を、こう、席卷していくんじゃないかっていう、あの、英語に対する恐怖みたいな意見も、一部、聞いたことがあるんですけどね、そういうことはどう思われますか？。

I： まー、そのことは、やっぱ、英語を、うけい、受け入れていけば、まー、なんとかなるだろうし（うん）、まー、そこは、別に、気にしません。

T： うーん。

じゃ、あの、英語はひとつの道具として考えるということですか？。

I： まー、便利な…

T： 便利な。

I： 道具として考えるん***（うん）。

T： でも、言語はね、ひとつの道具になってしまうっていうことと、それから、今、いわゆる文学とかね、心を伝えるものとかありますでしょ、精神的には。

そういう、あの、バランスっていうのは？。

I： うーん、でも、やっぱ、***、一番、広がってるんで（うん）、英語を使うことによって、やっぱ、ほかの文化も知ることできることもあるし、やっぱ、なん、なんか、うーん、英語以外で（うん）しゃべろうと思えば（うん）、いろいろな言語を勉強しなければ（うん）ならないんで、やっぱ、英語が（うん）一番の近道じゃないかと（うん）思います。

T： *、英語は非常に便利だっていうことだけど、英語そのものの魅力みたいなもの、ありますか？。英語のここが好きだって。

I： うーん、えー、、、なんというか、単純にかっこいいっていうイメージしかないですね。

T： あん、かっこいいんですか。

それは、どうして？。

I： うーん、前まで英語、嫌いだったんですけど、なんか、英語の音楽とかも聴いてたら、なんか、いい音楽とかもあれば、悪いのもあるんでありますけど、ま、音楽をとおして、英語がかっこいいように思えて、そ、それで、英語***。

T： そういう人、結構多いですよ。

で、将来、えーと、どこの国の言語が、一番、今の若い世代の人たちに、受け入れられていくと思いますか？。

I： 英語ですね。

T： 英語。

うーん。

英語が、あの一、こう、【I】さんが思ってたように、全世界に広まっていったら、世界はどう変わっていくと思いますか？。

今よりも。

I： んー。

やっぱ、英語が広まれば、なんか、こっちの国で知りたい、こっちの国で知りたいことが（うん）、わかるなど、な、技術的に衰えた国など、もう、あんまり、なんか、意見だ、意見だそうにも、すげや、あ一、なん、どう言ったらええんや*。

えーと、英語は、ちょっと、もう1回、言うわ {笑}。

T： はい。

I： えーと、英語、英語、んと、、、、*、うーん、今、自分が旅行、行きたいとしても、あ、えー、じぶ、んー、自分が行きたい国に、の、文化など知らなくても、英語で、英語があれば、なんか、まー、一応話すことは話せますし、もし話せなかったら、あの、すむすの、その言語を勉強するには難しいところもあれば、難しいところもあるんですけど、やっぱ、英語をひとつ勉強してれば、まー、わかる部分も、わかってき、くると思います。

T： うん。

それ、【I】さ、個人的にそう思われるんですね。

I： もう、***。

H001

- T: 世界がどう変わるかなと。
- I: 世界, どう変わるの、、、
- T: 英語を使う人が増えたら。
- I: もう, 国際化とか, そういうのなくなるんじゃないかね, ですかね。
- T: うーん。
あ, 特に国際化というような意味合いが。
- I: 国際化自体が〈ええ〉, 意味がなくなって〈ええ〉, もう, 普通にひとつの国としてまとまりそ〈あー〉, まとまるかどうかわからないですけど〈ええ〉, まー, ひとつ, ひとつとして, まー〈なるほどね〉, いわゆる, ノーボーダーみたいな。
- T: あ, なるほどね〈はい〉。
貴重なご意見, ありがとうございます。
- I: *。
- T: えっと, 今, 部活は, なになさってるんですか?。
話が変わります…
- I: あ, ロック研究部です。
- T: え?。
- I: ロック研究部。
- T: ロック研究部。
お, 音楽?。
- I: はい。
- T: あ, どんなことやるんですか?。
- I: いや, 自分はドラム担当です〈ええ〉。
もう, 普通に, 自分, あの, バンドを集めて, その中でやりたい音楽を, みんなで決めて, それで, たまに, あのー, 文化祭などで, 発表, それを発表する〈ええ〉といったかたちで。
- T: あー, そうですか。
その, 文化祭に発表するまでのことを, ちょっと詳しく教えていただけますか?。
どんなスケジュールで, あの, 発表して***?。
- I: それは, 文化祭以外に, もうひとつ〈ええ〉, あの, 大会があるんですけど, *, ***っていうのがあって〈ええ〉, *, *, 近畿〈ええ〉, きん, 近畿, えっと, 今, いろんな学校で, 部活として, なんか, 大会が行なわれてるんですけど, 今, それがメインで, あの, みる, あとは, す, じゅうに, 12人ぐらいの人が集まって, おんが, ま, バンド作って, それを, その大会, その大会に出るために, 今, 練習してるんですけど〈うん〉。
あとは, だいたい, みる, 普通に, ばん, バンドをわかれて, ***とる感じで, あの, 機材が, あの, 1つしかない*, ドラム, ドラム〈あー, そうですか〉, セットが〈ええ〉。
みんなギター持ってるんですけど, やっぱ, ドラムが1つしかないんで〈はい〉, 合わせる時間が, もう, ひと, い, だいたい, 分けて, その時間にしか合わせないみたいな感じでしかできないんで, あの, まず, やるバンドを決めて, 数を決めて, そっから時間…
- T: やるバンドっていうのは音楽ですか?。
- I: もう, そのばん, 1つのバンドを〈ええ〉, ワンバンドとして〈ええ〉, それが4つあると〈あ, そんなにあるんですか〉, あるとしたら〈ええ〉, 時間を〈ええ, ええ〉4つにわけます〈うん〉。
そっから, あの, どこ, どの時間がいいかなど, 予定があれば〈うん〉上のほうに入れる〈ふーん〉。
そういった感じで, 時間を分けて〈うん〉, もう, 普通に*。
- T: じゃ, 【I】さんにとって, 一番ね, その, えー, バンドをやる意味っていうのは, どんなことですか〈んー〉?。
*にとって。
- I: やっぱ, 音楽に楽しみを感じるから〈うん〉。
- T: 音楽って, どんなものですか?。
【I】さんにとって。
- I: 人生の一部ですかね?。
- T: 人生の一部。

{笑}, あ、音楽が嫌いな人がね、世の中にいますけどね、そういう人たちに、やっぱり、音楽のよさっていうのを、このバンドを通して、えー、バンドの演奏を通して、あの、伝わっていくといいかと思うんですけれど、あの、文化祭なんかには、いろんな人が来るんですか？

I : はい {笑}, あー、ちょっと、こっち、文化祭などは、ちょっと、残念ながら〈うん〉、そんなに、いち、たまに来るときあるんですけど〈うん〉、ちょっと、わからない場合は、結構、地味なところにあるんで〈うん〉、わからなかったら、たぶん来ないんですよ〈うん〉。

T : やっぱり、その、ここに来ないと聴かれないっていうね、あの、あれがありますね、生の演奏はね〈はい〉。

うん、ま、さっきの、あの一、言葉と共通しますが、音楽は、あの、言葉以上に、また、こうやって、広がりががありますよね。

うん。

ちょっと、また、今度、具体的なお話を〈はい〉させていただきたいと思いますが、えーと、あの、日本のお料理でね、えー、なにか、特に好きな料理ってありますか？

I : んー、特にないです。

T : なんか、唐突に料理のこと聞いちゃって、非常にね、健康的でいらっしゃるので、なにか、けん、あの、その、食事に気をつけていらっしゃるのかなと思って。

I : とりあえず、食べるものは食べます。

T : 栄養のバランスとか、そういうのは考えていらっしゃいますか？

I : いや、ちょっと、最近、肉があるんで、ちょっと野菜食べなきゃ〈うん〉っていうのを、かん、考えてます。

T : 必ず、朝晩は、おうちで、お食事されるんですか？

I : 朝、朝、たまに食べないけど、そのぶん昼は食べて、まー、残せば、とりあえず、夕方、肉食べて、そこから、家には、ま、家では、夕方は家で食べますけど、朝、たまに抜けてるときがあります。

T : たまですか？

I : たまに。

T : あー、じゃ、大丈夫ですね〈うん〉。

今、最近ね、あの、え、日本でも小さい子どもから朝ごはんを抜いて、学校に行く子どもが増えているってことを、よく新聞なんかに出てるんですけどね〈はい〉、あの、その、家庭での食事の形態が、【I】さんは、ご家族と一緒にご飯食べてらっしゃるんですね、夜とか？

I : 夜は、うーん…

T : 1人？

I : まー、一応、1人というのは〈ええ〉、ないですけど、食べるとしたら、*、2人、い、2人以上は〈ええ〉一緒に食べる。

T : あ、じゃ、孤食じゃないですね。

1人でたべ…

I : 孤食は、あんまり。

T : あ、そうですか。

I : たまにしか*。

T : 今ね、結構、日本の家庭の中で、孤食が増えてるっていうの、聞くんですけどね〈はい〉、それについて、どう思いますか？

I : 孤食、やっぱ、あの、1人で食べてると、なんか精神的に悪いおもて、やっぱ、みんなで食べていたほうが〈うん〉いいかと思います。

T : でも、今のね、日本の、あの、えー、社会情勢っていうか、こう、時間に追われてる、子どもは塾に負われてる、母親はパートに追われてるとかでね、なかなか一緒に、こしょくする、チャンスがないから、仕方がないじゃないかっていう意見も出てますけどね。

I : ***、なん、なんとしてでも、やっぱ、合わせたいですけど〈うん〉、なんか、時間的に、なん、忙しいというのもありますし〈うん〉。

ま、でも、できる場所で、でき、してない場所もあるんで、ちょっと、そこは、できるようにすれば、いい、できるする、できるようにすれば、あの、そこは、なんとかなるでしょう。

T : その、できるようにすれば、なんとかなるって、ちょ、ちょっと具体的に、どんなふうにしたらいいで

H001

しょうね？。

I : 具体的にいうと、もし、えっと、家族が、父、母、2人で、あと、ひ、子どもが1人いるとします。りょ、両方、働いていても、子どもが帰ってきたときに、1人で食べなければならないとき、親が、残業を残さんように、まー、仕事すれば、孤食というのを、何とか免れるんじゃないでしょうか？。

T : やっぱり、そういう意見をね、*、貴重な意見を、えー、世の中に、こう、新聞とか、あの、マスメディアとかで、あの、個人の立場からも発信していく必要っていうのは、あるんじゃないでしょうかね？。

I : まー、たぶん、違うと思う。

なんか〈うん〉、みんなが言うから、そうしてるとかじゃなくて、自分の意見から、***、やっぱ、なんか、なんも変わらないと思います〈うん〉。

T : じゃ、どこに訴えたらいいですかね？。

そ、どこに発表したらいいですかね？。

【I】さんの、できる場として。

I : うーん、***、ちょっと、そこは、わからない。

T : うーん。

ま、学校の生徒会とか、そういうのがあれば。

やっぱり、学校全体でね、あの、ここの学校、ちょっと、あたし、ネットで調べたら、かなり有名な学校なんですね〈はい〉。

ですから、その、えー、ネットなんかにもね、そういう意見なんか、取り上げるコーナーなんか、あるといいかなと思ったりしましたけどね。

えーと、ここでね、ちょっと、あの、ロールプレイっていうの、あの、ちょっと、***、していただきたいと思うんです。

それで…

えーと…

車は運転されないですよ？。

I : ***。

T : 自転車は？。

I : 自転車は***…

T : 乗りますか？。

I : *。

T : ちょっとね、これ、あの、このロールプレイを変えて、えー、やってみたいんですが、ちょっと、これ読んでみていただけますか？。

I : これ、そのまま？。

T : うん、そのまま読んでください。

I : そのままでいいですか？。

T : ええ、このまま読んでください。

I : あなたは、親しい友人の車を借り、運転して事故を起こして車を壊してい、しまいました。

友人に電話をして事情を説明し、許してもらいなさい。

T : これをね、えーと、自動車じゃなくて、友だちのお父さんの自転車を借りたということにして、そして、事故にあって壊してしまって、その友だちのお父さんに謝る、電話で謝るってことにしてください。

わたし、友だちのお父さんになりますね。

まず、友だちが出てきて、お父さんにかかります。

いいですか？。

じゃ、どうぞ、お願い*。

I : 電話をですか？。

T : はい。

でー、はい【T】です。

I : あの、【I】です。

T : あ、【I】くん、どうした？。

I : あの、ちょっと、今朝、自転車を借りましたけど、ちょっと、事故を起こしてしまいまし…

T : え、あ、あの、親父の自転車？。

H001

- I : はい。
あの…
- T : あ、ちょっと待って、ちょっと待ってね。
- I : はい。
- T : え、壊したの？。
かわるからね。
- I : はい。
- T : 体、大丈夫？。
- I : あん、大丈夫。
- T : じゃ、ちょ…
はいはい、【I】ですが。
- I : あ、もしもし。
- T : はい。
- I : あの、ちょっと、今朝、自転車、借りましたけど〈ええ〉、あの、さっき事故を起こしてしまい、て、壊してしまいました。
- T : えー、どんな事故か、ちょっと詳しく言ってください。
どんな…
- I : あの、ちょっと…
- T : だい、体は大丈夫ですか？。
けがしませんでした？。
- I : あ、*大丈夫です〈ええ〉。
ちょっと、あの、車は、ち、あの、横断歩道わたっていたときに、急に車が飛び出してきて、ちょっと、そ、ぶつかったんですよ、そこで〈ええ〉。
あの、ちょっと、それで、自転車は、こんな、ポストにぶつかってしまって、つぶれたんですよ〈あー〉。
申し訳ございません。
- T : いや、*…
- I : つぶしてしまいました。
- T : 自動車にぶつかって、けがしなかったっていうのは、すごい幸いだけど、大丈夫…
- I : あ、すいません。
- T : うん。
じゃ、その自転車、今、どうなってます？。
- I : 今、自転車、ちょっと、け、警察のかたが持っています。
ちょっと、事故の、あの〈うん〉、状況を、が、ちょっと、わからないんで〈うん〉、ちょっと、自転車は、警察のほうに預かっています〈うん〉。
はい。
あん、もう1度言います {笑}、すいません。
- T : あ、あの、体にね、けががなかったのが、なによりで、ま、ちょっと、とりあえず、えー、今日、時間があいてる時間に、ちょっと、うちに、えー、来てもらえないかな？。
- I : はい、わかりました、すいません。
- T : はい。
はい、ありがとうございます。
じゃ、今度、これね、あの、えー、うちへ帰って、お母さんに、こんなことがあったって、ちょっと、簡単に言ってください。
わたし、今度、お母さんになりますね〈*〉。
えっと、下のお名前、なん***たっけ？。
- I : あ、【I (名)】です。
- T : 【I】…
あ、【I】、どうしたの、その顔は？。
- I : いや、ちょっと、今朝、友だちの父さんに借りた自転車、つぶしてしまって。
- T : え？。

H001

どうしたの、それで？。

I : ちょっと、事故ってしまいました (うん)。

事故ってしまって。

T : で、あっちに連絡した？。

I : あ、もう、さっき、した (うん)。

ちょっと、チャリ、自転車、ちょっと、つぶれて、もう、使えるかどうか、わからないけど (うん)、
まー、一応、警察のほうに、持ってて、とりあえずは。

T : 弁償しなきゃいけないかな。

I : じゅっぱ、貯めた金、使うべきですね (うん)。

T : じゃ、ちょっと考えようね。

I : はい。

T : うん、でも、けがしなくてよかった。

I : うん。

T : はい、ありがとうございました、{笑}。

これから、どうされますか？。

今日、これで、おわ、終わりですが。

I : *、もう、***、勉強ですね。

T : また授業に？。

I : うーん、うん、授業です。

T : あ、じゃ、じゅぎよ、授業、楽しくやってください。

お疲れさまでした。

ありがとうございました。